

# 慈光

第74号  
2020.1.1発行

宝嚴院

川口市安行慈林954  
TEL048(281)3321  
FAX048(281)3305



## 巡礼・遍路とは何か ／巡礼・遍路へのいざない／

多くの皆さまが旅行先などで神社仏閣を観に行くことがあると思いますが、それはあくまでも副産物として、つまり目的地の近くにたまたまあるから行く程度

ではないでしょうか。しかし、タイトルにある「巡礼・遍路」とは、神社やお寺をお参りすることが目的のものです。今回は皆さまに

「巡礼・遍路」に興味を持つていたとき、当寺院で毎年五月に開催されている「巡礼・遍路」の行事に参加していただききつかけにしていただきたいたいと思います。

さて、先ほどから「巡礼・遍路」と同列に書いていますが、厳密に言えば意味合いが異なります。

「巡礼」とは日本各地にある観音

靈場（西国、坂東、秩父、最上、

etc.）をお参りすることを指

します。一方の「遍路」とは、四国八

十八か所靈場をお参りすること

です。つまり、「遍路」という言葉

は八十八か所参りの場面でしか

使われないということです。

それでは次に起源を見てみま

しょう。まずは「巡礼」からです。

「巡礼」の最古といわれるのが西

国三十三觀音

霊場で、大和の長

谷寺にいた徳道上人

という僧が

夢の中で閻魔様から「世の人々の

苦しみを救うために、三十三ヶ所

の觀音靈場を作り、人々に巡礼

を勧めなさい」と言われ、三十三

ヶ所の寺院を整備したことが西

国靈場の始まりです。しかしその

当時は、多くの民衆からは靈場

を巡ることの功能を信用されず、

が、この西国靈場を参拝し、一つの

お寺ごとに「巡礼歌」という和歌

を残して回りました。時の天皇

が、この西国靈場を参拝し、一つの

# 初薬師大護摩修行(ご縁日)

令和2年1月8日 午後12時半から法話 13時より護摩修行

## 慈林薬師大護摩

慈林薬師では毎月8日ご信徒の諸願成就を祈る御護摩を修法しています。御護摩の靈験利益は、数限りなく古来多くの方から信仰をいただいております。

### 御護摩とは

薬師如来を御本尊とし、その前に壇を設け、いろいろな供物を捧げ、護摩木という特別な木を焚いて御本尊に祈る真言宗の秘法です。御護摩の火は智慧を象徴し、まきは煩惱を表わしています。御護摩の祈祷を通じてまきという煩惱を薬師如来の智慧の炎で焼きつくし、ご信徒とともに、ご信徒の願いが清淨な願いとして高まり成就することを祈ります。

### ◆お護摩料◆

特別大護摩料	30,000円以上
大護摩料	10,000円
護摩料	5,000円
護摩料	3,000円

### ◆護摩願意一覧◆

家内安全	工場安全
商売繁盛	作業安全
身体安全	工事安全
厄災除	旅行安全
心願成就	開運満足
安産満足	入学成就
身上安全	合格成就
火難消除	学業成就
災難消除	就職成就
当病平癒	交通安全
無病息災	必勝祈願
手術成就	方災消除
負傷平癒	六三除
社運隆昌	虫封
事業繁栄	御札

(1ページより続く)  
道を進んでいる時も、戻っている時も、また立ち止まっている時も、どんな時でもお大師さまはそばに居てくださるという内容です。ただこの詩は、お遍路の時だけではなく、亡くなられた後の浄土の世界への旅路の時にも、日

常生活においても、いつでもお大師さまはそばに居てくださるという考え方でできると思います。  
さて、長々と「巡礼・遍路」について書いてきましたが、当寺院で毎年五月に行っている檀信徒の方を連れての巡礼が令和二年度は約十年ぶりの「遍路」四国八十八ヶ

所参りを計画しております。一度はお遍路をしてみたいという方もいるのではないかと思い、今回は「巡礼・遍路」について紹介させていただきました。一人で参加するのが不安な方はご友人などを誘いになり、ご参加頂ければと思います。

詳しい日程は、お寺にお越しになるが、電話でのお問い合わせ、またはホームページをご参照いただきたいと思います。

(憲寿記)

## 第一回慈林薬師宝嚴院 体験夏まつり開催報告

去る令和元年八月二十五日(日)に第一回慈林薬師宝嚴院体験夏まつりを行いました。今回も初回同様、百数十名の方がお越しになられました。この夏まつりのメインイベントは、「流しそうめん」です。お寺の役員の方にお願いし、七、八メートルの長い竹を使つた本格的なもので、大人も子供も楽しめ、さらに写真映えもするものです。「流しそうめん」以外にも本堂では「四国八十八ヶ所お砂ふみ」、

さまざまな体験や見学を通して、お檀家さんだけでなく、ご近所の方にとつてもお寺が身近になり、親しみを持つてもらえるように今後もこのような活動を続けていきますので、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



(流しそうめんを行う参加者たち)